

## 第4回新総合支所庁舎等整備有識者会議（書面協議）結果【美東総合支所分】

案 件 名	美祢市新美東総合支所庁舎等整備基本計画（案）
書 面 協 議 期 間	令和2年9月30日（水）～令和2年10月2日（金）
意 見 提 出 委 員	7名（岡松委員、前田委員、加藤委員、鈴木委員、目山委員、藏重委員、遠藤委員）
意 見 未 提 出 委 員	0名
意 見 提 出 方 法	メール 6名      F A X      1名

### 目次

ページ	ご意見等	回 答
目次	両総合支所の基本計画（案）を比べた場合、項目名が微妙に異なる箇所がある。 第2章1、第3章1、第4章1	項目名を秋芳総合支所の基本計画（案）と同じ項目名に修正します。
目次	先にいただいた「新秋芳総合支所庁舎等整備基本計画」では「第4章 事業計画 1 事業手法」が「事業手法および事業スケジュール」となっている。	「第4章 事業計画 1 事業手法及び事業スケジュール」に修正します。

### 第1章 新美東総合支所庁舎等整備計画の背景

ページ	ご意見等	回 答
15, 26	建設地選定の過程説明（P. 26）が後になり、WSの検討時のプラン（P. 15）が先に来るため、初見の読者にとって多少の違和感があるのではないかと危惧する。	P. 14の第2回市民ワークショップに建設候補地比較（表2-1）を追加しました。
20	市民ワークショップで出された主な意見に対しては、基本計画書のなかで回答する必要があると考える。	市民ワークショップの中で、出された意見のうち検討の必要がある内容については、引き続き、基本設計段階で検討する予定です。

## 第2章 新美東総合支所庁舎等整備の基本的な考え方

ページ	ご意見等	回 答
26	(表2-1) 「土砂災害特別警戒区域」は正しくは「土砂災害警戒区域」ではないか。土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)は、建築物の構造規制等がかかるので、そもそも建設候補地の適否の検討はできないと考える。	「土砂災害警戒区域」に修正します。

## 第3章 美東地域の複合施設(新美東総合支所庁舎等)の整備方針

ページ	ご意見等	回 答
32~34	③総合支所の規模の検討と⑤総合支所機能の構成と規模の記載内容が重複するため、読みづらいのではないかと。どちらも、総務省基準を引用しておきながら、③では表3-1を示し、⑤では表3-5を示しているが、両者の積算面積も一致しないことから、「基準にそのまま当てはめるとこうなるが、多少のアレンジを加えてこうなった」のような流れで、まとめて記載した方がわかりやすいのではないかと。	総合支所規模の検討と、総合支所機能の構成と規模については、内容が類似する部分もありますが、規模を想定するための根拠という位置づけであるため両方必要と判断しました。(本文修正なし)
34 39 47	事務スペースの計画段階の面積で、印刷スペースやミーティングスペースを含めるのであれば、秋芳と同じ125㎡ではないかと。	P. 34の(表3-5)の摘要欄に職員数が18名と記載してありますが、16名でしたので修正します。 については、秋芳より職員が2名減のため同じになりません。
34 39 47	宿直室10㎡とあるが、必要ないと思います。	新しい複合施設には、総合支所機能もあるため、夜間・週休日等に死亡届等の受付をすることになりますので、宿直は必要と考えます。
43, 45	西側の市街地からの徒歩あるいは、自転車でのアプローチを検討する必要があると考えます。また、サブエントランスを設けるのであれば、東側ではなく西側ではないかと。	西側の市街地からのアプローチ用のスロープの設置については、基本設計を進める中で、建物も配置を含めて、スロープの配置の可能性を含めて検討します。 サブエントランスの位置については、利用者の多くが車での来館が想定されるため、駐車場に近い位置とし、また、新しい施設の顔となることから、東側に配置する方向性です。

ページ	ご意見等	回 答
43, 70	<p>総合支所の跡地、新総合支所南側の広場、美東センター敷地の利用に関して検討が不十分です。中長期的な視点から、この施設の建設とは別に、検討していく必要があると考えます。</p>	<p>新総合支所南側の広場については、P. 42 3敷地利用計画(1)配置、ボリュームのところで、南側広場はグラウンドゴルフやイベントで使用するを考えています。 また、総合支所の跡地等については、本計画とは別に「美祢市都市・地域拠点活性化計画」のもとで検討します。</p>
44	<p>両総合支所の基本計画(案)を比べた場合、内容が微妙に異なる箇所がある。</p>	<p>3、5、6については、内容を秋芳総合支所と同じ内容に修正します。</p>
45, 52	<p>秋芳総合支所の基本計画(案)に比べ、防災時の外部空間活用や、日常時の外部空間と内部空間の連続的活用に関して、ご提案が薄いように思われる。これまでのWS等で要望が無かったかも知れないが、特に南側の管理用道路の取り方と、多目的ホールからの外部空間への連続性について、ご検討ください。</p>	<p>外部空間と内部空間のつながりについては市民ワークショップ等であり検討ができていないため、今後の基本設計の中で提案及び検討を行います。</p>
46	<p>両総合支所の基本計画(案)を比べた場合、各機能の記載順序が異なっている。 秋芳：総合支所→図書館→公民館→多目的ホール 美東：総合支所→公民館→多目的ホール→図書館</p>	<p>基本計画(案)では、基本的に説明順として総合支所、公民館、図書館としていることから左記の記載順序としています。</p>
49	<p>構造種別ごとのコストは規模(小規模～中規模～大規模)等によっては一概にお示しの比率にはならないような気がしている。(建物用途、規模など総合的に勘案すれば異なる比率になることが想定されると思います。) この表だけ見ると、RC造が最も安価な構造になってしまうのではないかと懸念している。(もちろん、総合的に検討した上で最適な構造が、RC造になるのであれば言うまでもない) 今後の設計段階において、設計条件や要求性能に応じた検討を行い、建設コストの低減を図りながら最適な構造種別を選定することにして、表は各構造の区分・特徴に留めたらどうか。</p>	<p>基本計画では、不確定な要素が多いため、現段階での参考比率として提示しました。 基本設計では、より具体的なコスト比較を提示し、総合的に検討した上で、適切な構造種別を選定します。</p>
52	<p>両総合支所の基本計画(案)を比べた場合、ほぼ同じ記載内容にもかかわらず、項目名が微妙に異なっている。 秋芳：7(1)災害対策拠点としての防災計画 美東：7(1)行政機能の継続性の確保と早期の・・・</p>	<p>「7(1)災害対策拠点としての機能」に修正しました。</p>

ページ	ご意見等	回 答
52	(2) 避難所としての機能：「⑤新型インフルエンザ等感染症対策に配慮したものとする」が今後重要になる。追加を検討ください。	「⑤新型コロナウイルスなどの感染症対策に配慮した避難所の運営を検討する」を追加しました。
54	7 防災計画：冒頭に「地震や台風、河川の氾濫等の災害発生時に・・・」と記述されていることから「地震災害対策」を追加して、「5 構造計画」で言及していない事項（地震発生時の対応・方針、支所として有すべき機能）を記述した方がよいと思われる。	「地震災害に対する安全性」の項目を追加しました。
54	上から7行目：ハザードマップは指定していない箇所を安全であると保証するものではないので、「ほぼ安全」との記述は誤解を与える可能性がある。	「洪水に対してほぼ安全であると考えられる。」を削除しました。
54	上から11～12行目：大田小学校は浸水深0.5～3mの範囲内にある。洪水が予測されるときに、あえて大田小学校に移動させるように読み取れる。	想定最大規模の場合、保健福祉センターも0.5～3mの浸水深の範囲内になり、2階建ての大田小学校に避難することとする。しかし、大田小学校も浸水深が同じ範囲内にあることから、「早期に状況を判断しながら」を追加する。

#### 第4章 事業計画

ページ	ご意見等	回 答
62	<p>①「施設の所有」の欄で、民間が所有することになっていますが、庁舎の場合の多くはBOT方式であり、公共が所有していますので修正を検討ください。</p> <p>②「課題」の欄で、財政支援を受けられないとありますが、PFIの場合でも財政支援は受けられますので、修正を検討ください。</p> <p>③「課題」の欄で、民間能力を発揮するメリットが小さいとありますが、これは運営の場合であり、設計・建設の場合は、メリットは大きいと思いますので修正を検討ください。</p> <p>④「課題」の欄で、竣工後にモニタリングが必要となるとあるが、それは貴市の手間が増えるへの懸念事項であり、本質的な課題ではないと考える。施設の維持管理等を前提にすると、モニタリングを行うことによって長期間にわたってクオリティが保たれるなどのメリットが大きいと考える。</p>	<p>①修正します。</p> <p>②削除します。</p> <p>③修正します。</p> <p>④削除します。</p>

ページ	ご意見等	回 答
63, 64	本事業ではPFIの活用は行わないが、本計画では今後の貴市でのPFI活用が阻害されない形にしておくべきと考えます。	修正します。
63, 64	両総合支所の基本計画（案）を比べた場合、ほぼ同じ記載項目にもかかわらず、書き出し、結びの文章が大きく異なっている。 （４）事業手法の選定 秋芳：書き出しは詳細に記載、結びはシンプルに記載 美東：書き出しはシンプルに、結びは詳細に記載	秋芳総合支所の第４回有識者会議（書面協議）で、委員からの指摘で変更したところを、ご提示した基本計画（案）に盛り込んでいるため。
66	概算事業費については、税込み、㎡単価、金額ともに先に示された秋芳総合支所との整合を図られたらどうか。 また、外構整備費の面積（3,800㎡）は、記入漏れか。	概算事業費について、税込み、㎡単価等は秋芳総合支所の基本計画（案）との整合を図っています。 また、外交整備費の面積（3,800㎡程度）を記載します。
66, 70	当分の間とはいえ、耐震補強せずに美東センターを使用していくことに疑問を感じている。解体費を準備すべきではないか。跡地の利用については、中長期的な視点から、この施設の建設とは別に、検討していく必要がある。	美東センターの今後の利用方法、及び、解体スケジュール、解体費等については本計画とは別に検討を行います。
70	両総合支所の基本計画（案）を比べた場合、ほぼ同じ記載項目にもかかわらず、書き出し、結びの文章が大きく異なっている。 （１）既存施設 秋芳：（１）既存施設の取り扱い、表の内容（要点）も文章で記載 美東：（１）既存施設、表の内容（要点）は文章で記載せず	新秋芳総合支所庁舎等整備基本計画（案）に比べ、表を簡略化していることから、要点については、文章で記載せず、表を一見すれば分かりやすくしているため、文章での記載はしていません。

## 資料編

ページ	ご意見等	回 答
78	自治体名を入れた方が良いと思う。 ⑦佐山地域交流センター → ⑦山口市佐山地域交流センター	自治体名を入れ、修正します。

その他

ページ	ご意見等	回 答
	(表3-4) の表記がぬけている。	修正をします。
	<p>両総合支所を比べた場合、図表番号の記載が異なる。                      秋芳： ( ) 囲みなし                      美東： ( ) 囲みあり</p>	<p>美東総合支所の基本計画（案）の図表番号については、 ( ) 囲みありとします。</p>
	<p>建設位置の検討に時間をかけているのに、明快な検討結果が得られていないように感じる。ワークショップのなかで、参加者の合意形成が図られるように、もう一段階上の対応が必要だったのではないか。</p>	<p>建設場所の選定段階で、建物の空間構成の可能性を同時に検討することで周辺の公共施設等の関係性含めた包括的な協議をする意図がありました。                      結果的にコロナ禍の影響により、4か月間、市民ワークショップが開催できず、また、スケジュールを伸ばすことができない状況の中、丁寧に協議を行わなければならない建設場所の選定の段階で、一方通行のような形になってしまい、ご指摘いただいた通り、混乱させてしまった可能性はあります。                      基本計画の中では施設の大まかな、枠組みについての合意形成ができたと考えますので、今後の基本設計の段階で、より具体的な協議ができるように努めます。</p>
	<p>建設位置の検討と建物の検討を同時にしており、建設位置の絞り込みや、そこで満たされる機能の議論になりにくかったと思う。</p>	
	<p>反省としては、建設位置の議論のなかで、スケジュール的な要素を示し、大田中央バス停側に建設するのであれば、用地買収を含め、今回の建設プロジェクトとして成り立たないことを、ワークショップの早い段階で示しておく必要があった。                      ただし、建設位置の議論が早い段階で大田中央バス停側に決まれば、調整ができたかもしれない。</p>	
	<p>住民参加により意見を求める時のスタンスとして、最初に住民が決めるものか、意見を言えるものか、意見聴取のみにとどめるものかの線引きをしておかないと、今回のように議論が一時的に発散してしまうことを記録にとどめ、今後の反省としていただきたい。</p>	